

アユモドキ保全 56団体が意見書

文科相、環境相に

京都府が亀岡市で建設を
予定する球技専用スタジア
ムの周辺に生息するアユモ

ドキの保全を求め、世界自然保護基金ジャパンや環境保全団体、研究者団体など56団体が22日、文部科学相と環境相に意見書を提出した。

意見書では、アユモドキが日本の3カ所にしか生息せず、絶滅危惧種として希少であると指摘。野生の環境で生息できる場所を維持した上での生息地の拡大や、国としての確な保全策を検討するための調査を実施するよう求めた。亀岡駅北側の区画整理事業やスタジアムにつながる道路建設が生息環境に悪影響を与えないように注視することも要請した。(高橋道長)